

安全データシート

VER. 2 作成日 2019 年 6 月 27 日

1. 製品及び会社情報

製品名 シフト 錆転換剤 (超速乾)
会社名 株式会社シフト
住所 大阪府堺市北区長曽根町アクシスクリエイティブセンター(ACC)4F
電話番号 072-252-3231
緊急連絡先 072-252-3231

2. 危険有害性の要約

【GHS分類】

物理化学的危険性

火薬類 : 分類対象外
可燃性・引火性ガス : 分類対象外
可燃性・引火性エアゾール : 分類対象外
支燃性・酸化性ガス : 分類対象外
高压ガス : 分類対象外
引火性液体 : 区分2
可燃性固体 : 分類対象外
自己反応性化学品 : 分類できない
自然発火性液体 : 区分外
自然発火性固体 : 分類対象外
自己発熱性化学品 : 区分外
水反応可燃性化学品 : 分類対象外
酸化性液体 : 分類できない
酸化性固体 : 分類対象外
有機過酸化物 : 分類対象外
金属腐食性物質 : 分類できない

健康に対する有害性

急性毒性 (経口) : 分類できない
急性毒性 (経皮) : 分類できない
急性毒性 (吸入: ガス) : 分類対象外
急性毒性 (吸入: 蒸気) : 分類できない
急性毒性 (吸入: 粉じん、ミスト) : 分類できない
皮膚腐食性・刺激性 : 分類できない
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 : 区分2A
呼吸器感作性 : 分類できない
皮膚感作性 : 分類できない
生殖細胞変異原性 : 区分1B
発がん性 : 区分外
生殖毒性 : 区分1A
特定標的臓器毒性 (単回曝露) : 区分2 (中枢神経系、視覚器、全身毒性)
: 区分3 (気道刺激性、麻醉性)
特定標的臓器毒性 (反復曝露) : 区分1 (肝臓)
: 区分2 (中枢神経系、視覚器)
吸引性呼吸器有害性 : 区分外

環境に対する有害性

水生環境有害性 (急性) : 区分外
水生環境有害性 (慢性) : 区分外

【ラベル要素】
絵表示又はシンボル：



注意喚起語：危険
危険有害性情報：引火性の高い液体
：強い眼刺激
：遺伝性疾患のおそれ
：生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
：呼吸器への刺激のおそれ
：眠気又はめまいのおそれ
：単回曝露によるによる臓器の障害（中枢神経系、視覚器、全身毒性）のおそれ
：長期又は反復曝露による肝臓の障害

注意書き

安全対策

- P201 使用前に取扱説明書を入手すること。
P202 すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
P210 熱、火花、高温体等の着火源から遠ざけること。禁煙。
P233 容器を密封しておくこと。
P240 容器を接地すること/アースをとること。
P241 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。
P242 火花を発生させない工具を使用すること。
P243 静電気放電に対する予防処置を講じること。
P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
P264 取り扱い後は手をよく洗うこと。
P270 この製品を使用する時に飲食又は喫煙をしないこと。
P271 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急処置

P370+P378

火災の場合：消火するために粉末、泡または炭酸ガス消火器を使用すること。

P303+P361+P353

皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣服を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。

P305+P351+P338

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

P337+P313

眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。

P308+P313

暴露あるいは暴露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。

P314 気分が悪いときは医師の診断、手当てを受けること。

P304+P340

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

保管

P403+P233

子供の手の届くところや直射日光の当たる場所、着火元のある場所、高温、多湿の場所には保管しないこと。

P405 施錠して保管すること。

廃棄

P501 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄処理業者に廃棄を委託する（不明な場合は購入先に相談の上処理すること）。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

化学名	含有量 (%)	官報公示整理番号 (化審法)	CAS No
エタノール	42.7	2-202	64-17-5
ノルマルプロピルアルコール	4.8	2-207	71-23-8
メタノール	2.5	2-201	67-56-1
フッ化アンモニウム	0.4	1-311	1341-49-7
皮膚剤・促進剤・その他	49.6	非公開	

4. 応急措置

- 吸入した場合：直ちに空気の新鮮な場所に移動させ安静、保温に努め、可能であれば鼻をかませ、うがいをさせる。
- 目に入った場合：清浄な水で最低 15 分間目を洗浄したのち直ちに眼科医の手当てを受けること。
- 皮膚に付着した場合：製品に触れた部分を水又は、微温湯を流しながら洗浄する。外観に変化がみられ、痛みが続く場合は直ちに処置を受ける手配をする。
- 飲み込んだ場合：水でよく口の中を洗浄する。可能であれば、のどに差し込んで吐き出させ、直ちに医療処置を受ける手配をする。

5. 火災時の措置

- 消火剤：粉末、二酸化炭素、水、耐アルコール性泡消火剤など。
- 特定の危険有害性：火災の時に有毒ガスを発生する恐れがある。
- 特定の消火方法：周辺火災の場合は直ちに容器を安全な場所へ移動する。移動不可能の場合は、容器及び周辺に散水して冷却する。
- 消火を行う者の保護：消火作業には必ず保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項：漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。
- 保護具：消火作業の際は、適切な空気呼吸器や防護服（耐熱性）を着用する。
- 緊急時措置：直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。
関係者以外の立入りを禁止する。
作業者は適切な保護具（「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照）を着用し、接触やガスの吸入を避ける。
風上に留まる。
低地から離れる。
付近の着火源を取り除き、消火器材を用意し、風通しを良くし漏出したガスを拡散させる。
- 環境に対する注意事項：洗い水が河川等に流入し、環境に悪影響を及ぼさないよう十分に注意する。
- 回収、中和：乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆って密閉できる空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
技術的対策：「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
- 局所排気・全体換気：「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行う
注意事項：適切な保護具を着用する。
：容器を転倒させたり、落下させたり、又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。
- 安全取扱注意事項：取扱い後は、手、顔などをよく洗い、うがいをする。
：火気厳禁。電気機材は防爆構造にするなど静電気、スパークなど着火源を生じないこととする。

保管上の注意 : 熱、火花、裸火から遠ざける。
適度な温度で乾燥した、換気の良い場所で保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策 : 屋内作業場での使用の場合は局所排気装置を使用する。
管理濃度 : 設定されていない。

許容濃度

メタノール	: ACGIH TLV-TWA	200ppm
	: TLV-STEL	250ppm skin
エタノール	: ACGIH TLV-STEL	1000ppm skin
ノルマルプロピルアルコール	: ACGIH TLV-TWA	200ppm
	: ACGIH TLV-STEL	250ppm

保護具

呼吸器の用保護具 : 防毒マスク（有機ガス用）
手の保護具 : 手袋（ネオプレン製など）
目の保護具 : ゴーグル型
皮膚及び身体への保護具 : ビニール性エプロン、導電性安全靴等
適切な衛生対策 : この製品を使用するときに、飲食、喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手を洗って下さい。

9. 物理的及び化学的性質

外観	: 液体	液状	: 褐色
臭い	: アルコール臭	pH	: 4.2（1%水溶液）
融点・凝固点	: データなし	沸点、初留点と沸騰範囲	: データなし
引火点	: 21.8 °C	爆発限界	: データなし
動粘度	: 2.73 cSt (21.5 °C)	溶解度	: 水に任意の割合で混合
自然発火温度	: 437 °C	分解温度	: データなし
n-オクタノール/水分配係数: データなし			

10. 安定性及び反応性

安定性 : 通常の保管、取り扱い条件下では安定。
避けるべき条件 : 高温、多湿な場所を避ける。
混雑危険物質 : 強酸化剤（硝酸塩、塩素酸塩、過氧化物、過塩素酸塩など）。
危険有害な分解生成物 : 燃焼により一酸化炭素、二酸化炭素。

11. 有害性情報（各アルコール単体における、人についての症例、疫学的情報を含む）

急性毒性	: ATEmix (経口)	分類できない
	: ATEmix (皮膚)	分類できない
	: ATEmix (蒸気)	分類できない
皮膚腐食性・刺激性	: 分類できない	
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	: 区分2 A(10×眼区分1)+(眼区分2または2 A) ≥ 10%	
皮膚腐食性・刺激性	: 分類できない	
生殖細胞変異原性	: 分類できない	
発がん性	: 区分外	
生殖毒性	: 区分1 A (エタノール42.7% > 0.3%)	
特定標的臓器毒性 (単回暴露)	: 中枢神経、視覚器、全身毒性は区分2 (メタノール2.5% ≥ 1.0%) 気道刺激性(ノルマルプロピルアルコール+エタノール=47.5% ≥ 20.0%) および麻酔作用 (エタノール+メタノール+ノルマルプロピルアルコール=50.0% ≥ 20.0%) は区分3	

特定標的臓器毒性（反復暴露）

： 肝臓は区分 1（エタノール 42.7% ≥ 10.0%）
中枢神経 2（エタノール 42.7% ≥ 10.0%）および視覚
器（メタノール 2.5% ≥ 1.0%）

12. 環境影響情報

水生環境急性有害性：限界濃度未満のため区分外
水生環境慢性有害性：限界濃度未満のため区分外

13. 廃棄上の注意

廃棄方法：都道府県知事の認可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理すること。
汚染容器及び包装：都道府県知事の認可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理すること。

14. 輸送上の注意

国連番号：1987
国連分類：Class:3
容器等級：II
注意事項：運搬に際しては、容器に漏れのないことを確かめ荷崩れ等の防止を確実に行う。

15. 適用法令

水質汚濁防止法：該当（pH）
労働安全衛生法：名称等を通知すべき有害物
エタノール 42.7%
ノルマルプロピルアルコール 4.8%
メタノール 2.5%
フッ化アンモニウム 0.4%
名称等を表示すべき有害物
メタノール 2.5%
P R T R 対象化学物質：非該当
船舶安全法：引火性液体類（危規則第 2, 3 条危険物告示別表第 1）
航空法：引火性液体（施行規則第 194 条危険物告示別表第 1）
消防法：第四類 第二石油類 水溶性液体

16. その他の情報（引用文献等）

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証もなすものではありません。含有量、物理化学的性質、危険有害性等は参考情報であり、いかなる保証をなすものではありません。

f t y 記載事項は通常のご取り扱いを対象としたものですので、特別なご取り扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施のうえ、ご取り扱い願います。